

第4章 開発モデルの試案

開発モデルの試案の一覧

① 地域の未来像を共有するための学びの場づくり	
	みんなでつくる・未来の〇〇プロジェクト（まるごと〇〇大学）
	地域づくりビジョン発! 〇〇活性化プロジェクト
② 地域の人材による家庭教育支援	
	地域みんなで☆子育て応援団プロジェクト（家庭教育支援チーム〇〇）
③ 地域の人材による地域学校協働活動の推進	
	地域・学校 ^{ともそだ} 共育ちプロジェクト ～子供は地域の宝じゃけん～
	地域の輪 〇〇っ子応援隊プロジェクト
④ 地域の人材による社会的包摂の実現	
	つながりプラットフォームプロジェクト（公民館カレー食堂）
⑤ 地域防災・減災の仕組みづくり	
	チャレンジ防災!プロジェクト in 〇〇
⑥ その他（地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成）	
	「〇〇100歳大学」プロジェクト
	「〇〇×アート = ^{むげんだい} ∞ ?!」プロジェクト
	リノベ公民館プロジェクト

※〇〇は自治体や地域名等をイメージしています。

①地域の未来像を共有するための学びの場づくり

みんなできつくる・未来の〇〇プロジェクト(まると〇〇大学)



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・過疎や高齢化が進み、若年世代が減少(高齢化率:〇〇%)
- ・若年世代の地域参画機会の減少
- ・地域住民(多世代)同士の交流の場の不足
- ・公民館等の貸館状態化, 利用者の固定化

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・住民参画による地域ビジョンの形成・共有
 - ・若い世代の地域貢献活動の活性化・世代間交流
 - ・学びを通して社会に主体的に関わり行動する人材の育成
- ▶ **公民館が“学び”から新しい未来を生み出す地域の拠点に!**

4 取組の進捗をみるために

11 地域貢献活動の活性化

17 市民参画の促進

取組の概要

ポイント

- ① 住民一人一人の思い, アイディア, 学びの成果を地域づくりに生かす!
- ② 地域の人, 組織, 事業, 自然環境, 文化, 歴史, 生活...すべてをまると学習資源に!
- ③ 若い力で地域を変えろ!(学び力と郷土愛の育成)

■ 地域への思いや未来像を共有するためのワークショップ (まると〇〇大学)

- ① 地域の思いを知る(プロジェクトチーム立ちあげ, 住民リサーチ(インタビュー, アンケート))
- ② 地域の変化を読む(地域の昔と今を知り, 現状を把握)
- ③ 地域の魅力を集める(中高生による地域の魅力発見フィールドワーク)
- ④ 地域の未来を語りあう(中高生と多世代の住民の対話で生み出す地域の未来像)
- ⑤ できることから始める(未来像を実現する事業を立案し, 活動を開始!)

■ プロジェクトチームによる企画会議 (事業計画立案, 試行実施)

- ・ **事業開始 (まると〇〇大学)**
- ・ **公民館まつりへの出展・協力 (成果発表)**
- ・ まると〇〇大学体験ミニコーナー
- ・ プロジェクトの紹介展示ブース
- ・ 中高生による成果発表

【事業(まると〇〇大学)のアイディアの一例】

- ・ 高校生レストラン(〇〇カフェ)
(特産品を使ったメニュー開発, 中学生・高校生によるレストラン運営)
- ・ 〇〇アドベンチャー・パーク
(豊かな自然環境を生かした子供の体験学習の場づくり)
- ・ 〇〇チャレンジクラブ
(誰かのやってみたいこと・挑戦をみんなで応援)
- ・ 〇〇農業大学(若い世代の力でクリエイティブな未来の農業を創造)

発展・継続・関連

・プロジェクトチームの自立化支援(発展・充実) ・学校や企業, 団体等との連携の広がりと継続

成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

【定量評価】

- ・プロジェクトへ参加した住民数
- ・公民館等の利用者数
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力(ソーシヤル・キャピタル)の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・〇〇公民館(プロジェクト主管)
- ・〇〇地区自治協議会・地域おこし協力隊
- ・〇〇市役所(役場)〇〇課
- ・〇〇市教育委員会〇〇課
- ・保育所, 小学校, 中学校, 高等学校, PTA
- ・老人会・女性会・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市(町)まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会(農業部会)予算
- ・公民館主催事業予算 (ほか)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							準備期					
2年目								準備期				
3年目												

1年目: ワークショップ④ PT会議(随時) 事業本格実施 (PT会議・随時)

2年目: ワークショップ⑤ 企画会議(随時) 事業試行実施① 公民館まつり

3年目: ワークショップ⑥ PT会議(随時) 事業試行実施②

準備期: PTキックオフ会議 PT会議(随時) 試行期

【参考情報】

- このまちにくらいたいプロジェクト(広島市古田公民館)
- 若者参画による過疎地域活性化事業(神石公民館)
- 開成つ子はぐみくみ会(佐賀県佐賀市開成公民館)
- チームさかわ(高知県佐川町)

地域づくりビジョン発! 〇〇活性化プロジェクト



地域の現状・課題 (今の地域)

- 〇地域自治組織の在り方や見直しの必要性
 - ・人口減少により、組織の活動維持が困難
- 〇全住民が共有した「地域づくりビジョン」策定の必要性
 - ・既存のビジョンの認知度が低く、地域づくりに向けた方向性が定まっていない
 - ・ビジョンを踏まえた活動・事業が皆無
- 〇地域行事へ参画する若者を地域づくりの関心・感心へつなげる必要性

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- 〇住民参画による「地域づくりビジョン」の形成・共有
- 〇老若男女を問わず、多世代が住みたいと思える地域づくり (1・U・ターン者、障がいのある方、移住者、外国人へもやさしい地域)
- 〇若い世代の積極的な地域参画・活気のある地域づくり事業の展開

4 町民参加型
みらい

11 日本共産党
プロジェクト

17 小国町
まちづくり

取組の概要

- ポイント**
- ① 必要かつ実現可能な「地域づくりビジョン」の策定と共有!
 - ② 若い世代を巻き込んで、多世代が地域の過去・現在・未来を語り合い!
 - ③ 「地域づくりビジョン」の実現に向けた既存事業のリデザインと新事業の立案・実施!

■新ビジョン策定に向けた意見交換と研修会

- ①「過去・現在・未来の地域の現状を知り、予想し、どう動くべきか」をまず自分達で再考
- ② これからの地域づくりやビジョンの必要性を他地域の事例を参考にしながら学習

■新ビジョン策定に向けた検討会議

- ①地域づくりビジョン策定に向けたプロジェクトチームの発足
- ②地域のために「残したい・改善したい・創りたい」等をテーマにワークショップを開催
- ③地域の現状や住民の声、ワークショップで出された意見を参考に新ビジョンを策定

■新ビジョンに基づいた地域づくりを実現するための事業・組織の検討会議

- ①既存事業のリデザイン案、新規事業の企画案の検討
- ②新ビジョンに基づいた地域づくりのために組織体制の見直し検討

■新ビジョンに基づいた事業の試行・実施及び意見の聴取

- ①新ビジョンに沿った事業の試行・実施
- ②関係機関、団体等への意見聴取
- ③新ビジョン・事業等を評価するプロジェクト会議の定期開催

発展・継続・関連

・地域づくりビジョンに沿った事業の見直しと展開・関係機関、団体との連携

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						準備期						
2年目												
3年目												

試行期

新ビジョン策定に向けた検討会議

実施期

事業の試行・実施及び意見の聴取

準備期

事業・組織の検討会議

意見交換会と研修会開催
プロジェクトチーム発足

成果指標 (目的の達成度、波及効果)

【定量評価】

- ・プロジェクトへ参加した住民数
- ・新地域づくりビジョンの策定
- ・組織体制の見直し

【定性評価】

- ・若い世代の地域づくりへの参画
- ・地域の活性化
- ・地域づくりへの住民意識の向上と組織強化

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・〇〇地区振興協議会
- ・青年会
- ・こども会
- ・PTA

運営財源・活動資金

- ・地域づくりビジョン策定に係る補助金
- ・〇〇地区振興協議会予算

【参考情報】

- ・小国丸も応援! 地域づくりビジョン発! 小国地区活性化プロジェクト (小国自治振興センター・小国地区振興協議会) (R01-02「ひろプロ」モデル事業)

地域みんな☆子育て応援プロジェクト (家庭教育支援チーム○○)

地域の現状・課題 (今の地域)

- ・親が身近な人から子育てを学ぶ機会減少
- ・家庭教育に関する身近な学びや相談の機会の不足
- ・家庭と地域のつながりの希薄化
- ・地域住民(多世代)同士の交流の場の不足

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・「親」の主体性を育み、支援の循環を生み出す学びの場づくり
 - ・子育て家庭を支える地域のネットワークと体制づくり
 - ・多様な世代が関わり合い、安心して子育てができる地域コミュニティの創造
- ▶ **親と子の育ちを応援する“つながり”と“学び”の場としての公民館**

取組の概要

- ポイント**
- ① 「してあげる支援」から、親が親自身の力で育てていくための「力を引き出す支援」へ!
 - ② 子育て家庭と多世代の交流による関係づくり (地域育ち・地域がひとつの大きな家族)!
 - ③ 子育て中の親(当事者)や地域の人材で支援チームを立ち上げ(次世代の支援者を育成)!

■ 子育て応援団プロジェクト・ワークショップの開催

- ・地域内の子育て支援に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
- ・地域課題を共有し、一体的な家庭教育の推進を図る

■ 家庭教育支援チーム(立ち上げ準備)キックオフ会議(企画会議：毎月定例会)

■ 家庭教育講演会

■ 子育ておせっかいさん養成講座(「親プロ」ファシリテーター養成講座)

- ・次世代の支援者育成(→チームへの参加呼びかけ)

■ 「子育てにこりカフェ」(オープンスペース)開設

■ ママとパパの子育て応援講座(主催講座、訪問型講座)

■ 子育て応援ファミリーエスタ(公民館まつりと合同実施)

- ・「親プロ」体験ブース・親子で楽しめる体験活動ブース・子育てサークル紹介ブース等

▶ 「家庭教育支援チーム○○」の発足

公民館だより・ブログ・SNSで情報発信

準備期

試行期

実施期

発展・継続・関連

- ・家庭教育支援チームの活動促進、自立化支援
- ・学齢期の子供の家庭への支援の充実
- ・つながりにくい家庭に支援をつなげるための、福祉部局や学校との連携の仕組みづくり
- ・子育てガイド・リーフレット作成
- ・地元企業等との連携

成果指標 (目的の達成度、波及効果)

【定量評価】

- ・講座等に参加した住民数
- ・家庭教育支援に関わった支援者等の数
- ・家庭教育支援チームの発足

★この地域で子育てしたいと思う住民数

【定性評価】

- ・家庭教育支援のネットワークの構築
- ・地域力(ソーシャル・キャピタル)の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・○○公民館(プロジェクト主管)
- ・「親プロ」ファシリテーターの会
- ・健康福祉部局
- ・民生児童委員
- ・○○地区自治協議会
- ・社会福祉協議会
- ・地域の子育てサークル
- ・保育所、幼稚園、児童館、小学校、中学校、PTA
- ・老人会
- ・女性会
- ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・○○地区自治協議会予算
- ・公民館主催事業予算 ほか

【参考情報】

- 府中町家庭教育支援チーム「くすのき」(府中町)
- 向東地区家庭教育支援チーム「親ちから」(尾道市)
- 尾道市「すまいるぱれっと」(「親プロ」ファシリテーターの会)
- 未来のまちのおせっかいさん養成講座(海田公民館)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							ワークショップ開催 キックオフ会議	企画会議	企画会議	企画会議	企画会議	家庭教育講演会
2年目				「おせっかいさん養成講座 企画会議(毎月1回)」	子育てカフェ開設(毎週○曜日)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)
3年目				「おせっかいさん養成講座 企画会議(毎月1回)」	子育てカフェ(毎週○曜日)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	子育て応援講座(4回講座)	ファミリーフェスタ開催 ★家庭教育支援チームの発足

③地域の人材による地域学校協働活動の推進

地域・学校 共育ちプロジェクト ～子供は地域の宝じゃけん～



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・少子化・核家族化の進展, 共働き世代の増加
- ・地域のつながりの希薄化
- ・地域格差・経済格差の進行
- ・学校を取り巻く問題の複雑化・困難化

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・地域ぐるみで子供たちの健全育成を図る
- ・子供たちの豊かな社会体験活動の推進
- ・学校・家庭・地域の連携強化による地域社会の教育力の向上

▶公民館が「コ・デイ・ネット」機能を発揮し、地域と学校のパートナーシップを実現

取組の概要

- ポイント**
- ①地域が学校を元気にし、元気な学校が地域を活性化する好循環の仕組みづくり!
 - ②公民館が「コ・デイ・ネット」し、地域の資源(ヒト・モノ・環境...)を最大限に生かす!
 - ③子供と大人の学びの好循環により、地域全体の学びが活性化!

準備期

- 「学校を核とした地域づくり」ネットワーク会議の組織化, 研修会(ワークショップ)の開催
- ・学校や地域活動に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
- ・地域学校協働活動の理解と趣旨の共有

試行期

- 企画会議
- ・地域の多様な経験や技能を持つ人財や公民館利用団体等とコラボした事業を企画
- 〇〇キッズ(夏・冬・春休み講座)
- 学校の文化祭への公民館出前講座, 出展, 芸能発表
- 公民館まつりで, 子供たちが学校(教科等)で学んだことを発表

実施期

- 「サテライト講座」の実施(学校⇄公民館)
- ・学校の授業へ住民が参加, 公民館の講座へ学校の授業の一環で子供たちが参加
- 〇〇キッズ(隔月第3土曜日開催)
- 学校・公民館合同学習フェスタ(公民館まつりと合同実施)

発展・継続・関連

〇「〇〇キッズ応援団」の発足と活動の充実

- ・チーム化
- ・連携授業(講座)の実施
- ・人材確保と人材養成
- ・オリジナルソング等の創作

公民館 により・ブログ・SNSで 情報発信

※学校の教科(「生活科」や「総合的な学習の時間」など)の中に組み込めるよう学校と緊密な連携を図る。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目								NW会議 立ち上げ キックオフ会議	企画会議	準備期	研修会 ワークショップ	
2年目		NW会議・企画会議(随時)		試行期	〇〇キッズ①	文化祭	公民館まつり	公民館まつり	〇〇キッズ②	〇〇キッズ③		
3年目		サテライト講座(随時)		実施期	〇〇キッズ(隔月)							合同学習フェスタ

【定量評価】

- ・学校に地域の人に関わった数
- ・子供の地域の活動体験の数

★この地域で暮らしたいと思う住民の数

【定性評価】

- ・「〇〇キッズ応援団」チームとしての構築
- ・地域力(ソーシャル・キャピタル)の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・〇〇公民館(プロジェクト主管)
- ・〇〇地区自治協議会
- ・公民館団体利用者(サークル・クラブ等)
- ・小学校, 中学校, PTA
- ・地域学校協働活動推進員
- ・老人会
- ・女性会
- ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会予算
- ・公民館主催事業予算 ほか

【参考情報】

- 山陽小野田市教育委員会・中央公民館の実践事例(公民館を拠点とした地域学校協働活動)
- ひがしのキッズ(竹原市立東野公民館)

つながりプラットフォームプロジェクト（公民館カレー食堂）



地域の現状・課題（今の地域）

- 一人親世帯の増加等を背景とした貧困問題
- 家庭・地域の教育力の低下
- 地域住民（多世代）の交流の場の不足
- 地場産業（農業等）の担い手不足

取組の概要

- ポイント**
- ① 経済的に厳しい、困難を抱える家庭の子供だけでなく地域すべての住民（子供）を対象に！
 - ② 既存の公民館講座や関係団体のメンバーがスタッフに（“動員”でなく“楽しんで”活動）！
 - ③ お年寄りから子供まで、親しみやすく、誰もが大好きな「カレー」をテーマに事業展開！

■プロジェクトチームの組織化、事業企画ワークショップ開催

- 関係団体・サークル等への説明と協力依頼
- 協力者によるプロジェクトチームの組織化
- 地域の実態や課題を把握・共有し、プロジェクトの展望を描くワークショップを開催

■プロジェクト会議

- 事業説明会（広報、周知説明）
- 「公民館カレー食堂」試行（年間5回）

・公民館講座や関係団体のメンバーがスタッフに！

■「公民館カレー食堂」定例開催（毎月第1土曜日）

■公民館まつりへの出展・協力（成果発表）

- 各団体のカレー試食ブース
- プロジェクトの紹介展示ブース
- “子どもカレー食堂”開店！（中高生による主体的な運営）

発展・継続・関連

- “出張”公民館食堂の実施（他施設・他地域への出前事業）
- “つながりにくい”家庭へのアクセスの検討
- 子どもカレー食堂の定例実施
- 学校や企業、団体等の連携の広がりと継続
- “カレー以外のメニュー”開発

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- 地域全体で全ての子供を育む仕組みづくりと多世代交流
 - だれもが気軽に訪れ、集い、つながりあえる居場所づくり
 - 地元食材や地場産業（農業等）への理解・愛着と将来的な担い手育成
- ▶食（カレー）をテーマに地域の誰もが集える“プラットフォーム”を創造

成果指標（目的の達成度、波及効果）

【定量評価】

- プロジェクトに参加した住民数
 - 協力団体（ボランティア）数や提供食材数
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

【定性評価】

- 地域内ネットワークの構築
- 地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

- 〇〇公民館（プロジェクト主管）
- 〇〇地区自治協議会
- 〇〇地区社会福祉協議会
- 〇〇地区農業団体
- 〇〇地区小学校、中学校、PTA
- 〇〇地区保育所、老人会
- 〇〇地区女性会
- 〇〇地区子ども会

運営財源・活動資金

- △△市（町）まちづくり支援事業補助金
- 〇〇地区自治協議会（農業部会）予算
- 「子ども食堂」関係の補助事業等活用
- ひろしま子ども夢財団子ども食堂支援事業補助金
- 農業法人やフードバンクからの食材提供

【参考情報】

- 〇浅原食堂（廿日市市浅原市民センター）
- 〇循誘公民館カレーの日（佐賀県佐賀市）の取組
- 〇各地の「子供食堂」の取組

公民館だより・ブログ・SNSで情報発信

- ※輪番制でオリジナルカレーを創作
- ※地元の食材（規格外食材等）を農業法人やフードバンク等から提供協力

1年目	2年目	3年目
事業説明会	公民館食堂①	公民館食堂②
PT全議①	PT全議②	PT全議③
公民館食堂（毎月1回）	公民館食堂（毎月1回）	公民館食堂（毎月1回）
PT全議①	PT全議②	PT全議③
公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり
事業企画WS	事業企画WS	事業企画WS
協力団体等への説明	協力団体等への説明	協力団体等への説明
PTキッチン会議①	PTキッチン会議②	PTキッチン会議③
公民館食堂④	公民館食堂⑤	公民館食堂⑥
PT会議③	PT会議④	PT会議⑤
公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり
PT会議③	PT会議④	PT会議⑤

チャレンジ防災!プロジェクトin○○



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・地域住民の防災意識が低い
- ・災害発生直後の避難所(公民館)運営の仕組みがない
- ・高齢者、障害者、乳幼児(子育て)世帯等の孤立・支援

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・住民の防災意識の向上
- ・地域防災力による避難所(公民館)の開設
- ・災害時における地域での助け合いネットワークの形成(関係づくり)
- ▶ **地域の安全・安心拠点としての公民館づくり**

4 公民館を
みんなに

11 避難所を
みんなに

17 ネットワークで
つながろう

取組の概要

ポイント

- ① 「防災」という住民誰もが自分事となる共通課題への取組みを通じて、地域力を醸成。
- ② 既存の「地域資源」や「事業」を生かして、できるところから無理なくスタート。
- ③ 公民館が核となり、学校・家庭・地域の連携を通じて防災教育を幅広く推進。

■防災教育ネットワーク会議の組織化, 防災ワークショップの開催

- ・地域内の防災・福祉・教育に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
- ・地域課題を共有し、地域の関係団体で一体的に防災教育を推進

■避難訓練・防火訓練 ■救命救急講習

■チャレンジ防災○○ウォークラリー

■災害時避難所開設訓練 (HUG避難所運営ゲーム)

■「広島県『みんなまで減災』一斉地震防災訓練」参加 (毎年11月)

■チャレンジこども○○防災キャンプ

■チャレンジ防災フェスタ (公民館まつりと合同実施)

- ・防災プロジェクトの紹介 ・ハザードマップ等の掲示
- ・防災工作教室, 防災紙芝居, 防災カルタ ・消防車展示(消防車と記念撮影)

発展・継続・関連

- 体験型防災学習の充実 ・クロスロードゲーム ・DIG(災害図訓練) ・「防災キッズ」養成講座
- ・防災教室「ひろしまJプログラム」・防災運動会(○○地区運動会と合同実施)

公民館 だより・ブログ・SNSで情報発信

成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

【定量評価】

- ・地域防災活動等に参加した住民数
- ・△△市防災情報メールの登録者率
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力(ソーシャル・キャピタル)の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・○○公民館(プロジェクト主管)
- ・○○地区自治協議会
- ・○○地区社会福祉協議会
- ・○○地区自主防災会
- ・保育所, 小学校, 中学校, PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・○○地区自治協議会(防災部会)予算
- ・公民館主催事業予算 (ほか)

【参考情報】

- 地域における防災教育の実践に関する手引き (内閣府)
- チャレンジ防災in原(廿日市市原市民センター)
- 防災研修&炊出訓練(庄原市口和自治振興センター)

準備期

試行期

実施期

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							ネットワー ク会議 キックオフ	ネットワー ク会議①	NW会議②	NW会議②	防災ワー クジョブ	
2年目	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	救命救急講習 NW会議②	救命救急講習 NW会議②	救命救急講習 NW会議②	救命救急講習 NW会議②	救命救急講習 NW会議②	防災ウォークラリ 一斉地震 防災訓練	防災ウォークラリ 一斉地震 防災訓練	避難所開設訓練 NW会議③	避難所開設訓練 NW会議③	防災ワー クジョブ	
3年目	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	避難訓練, 防災訓練 NW会議①	防災フェスタ 一斉地震 防災訓練	防災フェスタ 一斉地震 防災訓練	避難所開設訓練 NW会議③	避難所開設訓練 NW会議③	避難所開設訓練 NW会議③	

「100歳大学」プロジェクト - 人生100年時代をどう生き抜くか -



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・人口減少, 超高齢化社会の進展(〇〇地区/高齢化率:〇〇%)
- ・高齢者の生きがい創出, 健康づくり(健康寿命)
- ・独居高齢者, 高齢期の孤立化防止
- ・高齢期の個人の自立と地域参画・社会貢献の仕組みづくり

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・体系的に「若い」の基礎・基本を学ぶ
 - ・同年代の仲間をつくり, 地域で生きる(地域の絆づくり)
 - ・高齢者の主体的な学びの支援と「学びの循環」づくり(地域参画・社会貢献)
- ▶ **人生100年時代を見据え, 公民館を拠点とした「100歳大学」を展開**



取組の概要

ポイント

① 「教室」は**住民に最も身近な学習・交流の活動拠点である「公民館」**を活用

② 「先生」は現場の実践家・専門家, 企業・大学・行政など, **地域の多様な主体・人材を積極的登用**

③ 「授業」は「講義」とともに現場での**「体験」(実技, 演習, 対話, フィールドワーク)**を豊富に

④ 「カリキュラム」は**住民(学習者)の参画**による協働型学習プログラムとして開発

⑤ 地域の学びのネットワークを支援する**コーディネーター人材(社会教育士)**を育成・配置

準備期

- **プロジェクトの周知と理解・協力の促進, ネットワーク・チームの組織化**
 - ・自治協議会ほか, 地域内外の関係団体(関係者)との連携, ネットワーク化に向けたコーディネート
 - ・プロジェクトチーム(運営委員会)の立ち上げ, 企画調整会議
 - ・人生100年時代をテーマとした講演会・地元ワークショップ開催(学びから始まる地域づくり講演会・懇談会)
- 「人生100年時代をどう生き抜くか」の今と未来を考えるー」

試行期

- **「100歳大学」の試行実施**
- ・公民館の既存事業(百歳体操・終活・高齢者の料理教室等)と組み合わせて“100歳カAFE”を実施
- ・「100歳大学」の展開(学習プログラム開発, 運営ノウハウ構築等)に向けた試行実施

実施期

- **「100歳大学・100歳キャンパス」の実施**
- ・運営委員会で開発したカリキュラムにより「100歳大学・100歳キャンパス」を開講
- ・認知症予防, 特殊詐欺予防, 福祉制度, 地域参加, 幸せづくりなど, 老いを学び・備える講座の実施
- (市の「まちづくり出前講座」等を積極的活用) → 〇〇地区をモデルに市全域に向けた展開へ

発展・継続・関連

- ・受講修了者の主体的なプロジェクトの運営に向けた支援
- ・講師(地域人材)の育成と確保
- ・協力団体等の連携の広がり継続
- ・地域参画・社会貢献活動への支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	プロジェクトの説明と理解, 協力の呼びかけ プロジェクトの立ち上げ → 全体会議 → 講演会実施											
2年目	事業の広報等 → 試行実施											
3年目	事業開始											

成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

- 【定量評価】**
- ・講座の実施回数
 - ・講座参加者数
 - ・今後の生活に役立つ新たな知識等を得られた人の割合
- この地域で暮らし続けたいと実感した高齢者数
- 【定性評価】**
- ・地域内ネットワークの構築
 - ・地域力(ソーシャル・キャピタル)の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

- 【連携】**
- ・各地区自治協議会
 - ・〇〇市教育委員会生涯学習課
 - ・〇〇市役所〇〇支所
- 【協力】**
- ・地域おこし協力隊・老人会・女性会
 - ・社会福祉協議会・図書館・大学・企業

運営財源・活動資金

- ・公民館事業講師謝金
- ・まちづくり補助金

【参考情報】

- 東広島100歳大学(仮称)in福富プロジェクト
(東広島市福富生涯学習支援センター, 各地域センター (R01-02)「ひろプロ」モデル事業)

「〇〇xアート=∞」プロジェクト



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・地域住民の地元への興味関心が希薄
- ・地域住民(多世代)間交流の機会の不足
- ・若年世代の地域参画機会の減少
- ・空家の増加
- ・地域から出る若者が多い(Uターンで帰ってくる若者が少ない)

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

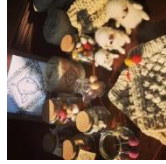
- ・地域を知る～地域の魅力を発見・発信
- ・若年世代の地域参画の十世代間交流
- ・地域内外の人のつながりの中で地域への関心と愛着を醸成

▶「アート」をテーマに「〇〇版」学びのネットワークを構築

取組の概要

- ポイント**
- ① 「若い世代」と「アート」の力でまさにムーブメントを起こす!
 - ② フクワクする「学びの場」と「学びの輪」づくり! 誰もが気軽にアートで表現!
 - ③ 行ってみたいくなる「公民館」▶ 暮らしてみたいくなる「まちづくり」!

- 「〇〇アートプロジェクト」チーム会議 (随時開催)
 - ・地域おこし協力隊や住民(有志メンバー)を中心にチームをつくり、活動の展開とともにネットワークを広げる
- 「〇〇アートカフェ」-〇〇のアートを感じよう-
 - ・「アート」をテーマに、地域資源を生かした様々な事業を展開し、地域内外に〇〇の魅力を広げる
- **手仕事ワークショップ**
 - ・地域講師(地域おこし協力隊)の協力を得た手仕事ワークショップ
- **〇〇インスタ映スア-**
 - ・知る人ぞ知る地域の「映ススポット」(農園、商店、風景、観光スポット...)を巡るインスタ映スア-
 - ・近隣在住のブロカメラマンの協力を得て、写真の撮り方の知識や技能を学ぶ
 - ・撮影した「映ス写真」を各自がSNSでアップし、地域の魅力を世界へ発信
- **キッズ(親子)アート・ワークショップ**
- **〇〇まちかどギャラリ-**
 - ・ワークショップで作成した作品(学習成果物)を公民館や地域の施設・商店等を「ギャラリー」にして展示
- **美術(現代アート・マンガ)や音楽・映画等をテーマにしたイベントの展開**
 - ・地域にゆかりのある作品(美術・音楽・映画)をテーマに様々なイベントを展開、地域内外の若い世代のアーティストとコラボ



発展・継続・関連

- ・まちの魅力がまったフリーペーパーの発行(公民館だよりの充実)・住民による手作りまち情報サイト立ち上げ・運営の支援
- ・地元企業、大学、学校等との連携強化
 - ・空家活用(リノベーション)の検討

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	準備期	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)
2年目	実施期	事業実施(〇〇アートカフェ)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)
3年目	実施期	事業実施(〇〇アートカフェ)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)	〇〇アートプロジェクトチーム会議(随時)

成果指標 (目的の達成度、波及効果)

【定量評価】

- ・公民館利用者数
- ・プロジェクトに参加した人の数
- ・地域で暮らし続けたいと思う住民数
- ・またこの地域を訪れてみたいと思う人の数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

【主管】

- ・〇〇公民館

【連携・協力】

- ・地域おこし協力隊
- ・地域住民(移住してきた若い世代など)
- ・大学生

運営財源・活動資金

- ・公民館主催事業予算

【参考情報】

- ・とよさかxアートプロジェクト
(東広島市豊楽生涯学習センター(企画・試行中))

リノベ公民館プロジェクト



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・ 男性, 中高年世代の地域参画
- ・ 地域住民(多世代)間交流の機会の不足
- ・ 公民館の貸館状態化, 利用者の固定化

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・ 男性, 中高年世代の地域参画の促進
 - ・ 地域住民の絆づくり, 地域ネットワークの形成
 - ・ 公民館の利用活性化
- リノベーションの力で, 公民館が変わる! 地域を変える!

取組の概要

- ① リノベーションの力で, 公民館が変わる! 地域を変える!
- ② 普段あまり公民館を利用しない, 男性や中高年世代の参画を促進!
- ③ 地域の企業・商店, 専門家, 専門家, 既存の施設・事業など地域資源を最大限に活用!

思いを共有するためのワークショップ

・こんな地域をつくりたい, こんなことがしてみたい, こんな施設をつくりたいなどの思いを共有

リノベ公民館キックオフ会議→プロジェクトチーム立ち上げ

・ワークショップ参加者を中心にプロジェクトチームを立ち上げ

プロジェクトチームによる企画会議(事業計画立案)

日曜大工講座 (既存事業の活用・拡充)

リノベーション講座(ワークショップ)全5回

- ・地域の企業・商店, 専門家等の協力を得ながらリノベーションに関する知識・技能を習得
- ・日曜大工講座の参加者を中心に, 男性や中高年世代の参画を促す

リノベーション開始

・公民館の老朽化した部屋などをリノベーション

〇〇まちづくりキャンパスオープン

- ・リノベーションした部屋を活用した事業開始
- ・交流カフェ, ミニマルシェ, 子供体験講座など...

リノベーションステップアップ講座

- 資材・機材や技術指導等は地元企業の協賛を得る。
- 働く世代の方が空き時間を利用して自由に活動できるよう, 休日や夜間の会場開放を検討する。
- 地元の若者(中高生等)の協力を得られるよう, 学校と連携する。

発展・継続・関連

・まちづくりキャンパスの事業充実 ・地域内の新たなリノベーション施設の開拓 ・新たな協力者層の巻き込み

成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

【定量評価】

- ・プロジェクトへ参加した住民数 (男性, 中高年世代)
- ・公民館等の利用者数

★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力(ソーシヤル・キャピタル)の醸成

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・〇〇公民館(プロジェクト主管)
- ・〇〇地区自治協議会
- ・地域おこし協力隊
- ・中学校, 高等学校, PTA
- ・地元協賛企業 (ホームセンター, 工務店等)

運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・公民館主催事業予算
- ・地元企業 協賛金 ほか

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							準備期 ワークショップ実施 PTキックオフ会議					
2年目				試行期 リノベーション講座① ② ③ ④ ⑤			リノベーション開始					
3年目				実施期 リノベ(ステップアップ)講座								〇〇キャンパスオープン(3月)

【参考情報】

- マスタヒとまちカレッジとよかわキャンパス (島根県益田市豊川地区つろて子育て推進協議会)
- 泉佐野丘陵緑地「パークレゾナンス」養成講座(パーククラブ)(大阪府宮泉佐野丘陵緑地パークセンター)